



Calypso
LINE STAGE

OWNER'S MANUAL

1. はじめに

この度は、Calypso Line Stageをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

Calypsoの先進的なマイクロプロセッサ回路は操作時のみ動作し、通常は全く動作しない為、音質に影響を与えることはありません。

1dBステップの66切替の独立抵抗のアナログボリューム、サラウンドプロセッサのためのバイパスモード、位相切替スイッチなどの先進的な機能を備えています。

高電圧トランスからなるパワーサプライは、EIコアを採用し、しかもチョークコイルでノイズを低減しています。全ての電磁波障害はステンレス製のトランスカバーによって完全にシールドされています。

Calypsoには、ハイクオリティなパーツのみ使用されています。Roederstein製のレジスター、RelCap製のフィルムコンデンサー、Mercury Magnetics製のトランス、Nichicon製のコンデンサーが適材適所に配置されています。

本機の特徴をよくご理解になり正しくご使用していただくことによって素晴らしい音楽をお楽しみいただくことが可能です。末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にぜひ本書をお読み下さいますようお願い致します。

2. 保証について

製品の保証について

- ・ 製品の品質管理につきましては万全の体制を取っており、厳密な検査を経て出荷しておりますが、万一製品上の不備による自然故障が生じましたら弊社の保証規定に基づき、保障期間内であれば、保証書をご提示頂くことにより無償にて修理をさせていただきます。
- ・ 製品の保証は、正規販売店より新品の状態でご購入いただいた場合に限りさせていただきます。第三者よりの譲渡、あるいは中古店でのご購入による場合は、保証の適用対象となりません。この場合は保証登録カードにご記入・ご返送いただいても保証書は発行いたしませんのでご了承ください。
- ・ 尚、保証期間内であっても、保証書記載のご氏名と異なる方がご使用になっている場合には保証は適用されません。

保証書の発行について

- ・ お手数ですが、同梱しております保証登録カードに必要事項をお書きの上ご投函下さい。弊社にてご愛用登録を行い、同時に保証書を発行させていただきます。保証書が発行されないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきますのでご留意ください。大変お手数ですが、保証登録カードのご返送を忘れないようお願いいたします。

3. アプルーブド・メンテナンス・プログラムについて

ご愛用の製品を常に最良の状態でご使用いただくために、製品輸入元による純正製品点検プログラム『アプルーブド・メンテナンス・プログラム』をご用意しております。

特に現在故障しているというわけではなくとも、長年の使用により、製品の各部に劣化が見られる場合があります。アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検・整備により故障を未然に防ぎ、常に最良のコンディションで製品をご愛用いただけます。また、アプルーブド・メンテナンス・プログラムにて点検・整備された製品につきましては、1年間の製品保証が付属されます。

費用について

アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、有償にて行います。費用は機器のグレードと製造後の年数によって異なります。費用のお見積りは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元までお問合せください。

対象除外品について

お客様ご自身あるいは第三者など、当社技術部門以外の手による改造品につきましては、初期性能を保証することができませんので、アプルーブド・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。

製造終了後9年を経過した製品は基本的にアプルーブド・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。長年ご愛用いただいた製品がアプルーブド・メンテナンス・プログラムの対象かどうかは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元にお尋ねください。

点検整備について

アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、実働・機能に関わる部分のみとなります。外観の整備は含まれません。

アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、対象製品が実働することが前提となります。修理が必要な場合には、修理品扱いとなります（アプルーブド・メンテナンス・プログラムの点検費ではなく、基本修理費が適用となります）。

アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検整備により、消耗部品、劣化部品などの交換が必要な場合には、別途部品代実費をご請求いたします。

お申し込みについて

アプルーブド・メンテナンス・プログラムによる点検・整備のお申し込みに関しては、お買い求めいただいた販売店にお願いします。

4. 個人情報の取り扱いについて

弊社では、お求めいただいた高価な製品を末永くご愛用いただくために、アフターサービスをご提供する目的で、製品に付属の「保証登録カード」にご記入・ご送付いただいてから「保証書」を発行するという方式を採用しております。お手数ではございますが、何卒主旨をご理解のうえご協力を賜りますようお願いいたします。

尚、「保証登録カード」にご記入、ご返送いただいたお客様を識別・特定し得る個人情報につきましては、弊社にて適切に管理することを社会的責務として重要と考え、下記の基本方針に基づき、お客様情報の保護、管理を徹底することを誓約いたします。

「保証登録カード」にご記入いただいたお客様情報の利用目的について

当社が得たお客様情報は、以下の目的以外には利用いたしません。

- ・お客様へのアフターサービス業務の基礎資料として
- ・弊社より発信するダイレクトメール等情報のお届けのため

お客様情報の管理について

当社はお客様情報を取り扱う管理責任者を置き、紛失、漏洩、不正な第三者提供などが無いよう、お客様情報の取り扱いに十分な注意を払います。

収集したお客様情報の第三者への提供、開示について

収集したお客様情報を、お客様のご許可なく弊社以外の第三者に提供することはありません。但し、お客様と当社間で製品の配送等のために、お客様に明示することなく委託業者に対しお客様情報の一部を開示することがございますが、利用目的の必要範囲内に限定してこれを行います。尚、この場合にあっては委託業者に対し、お客様情報を他の目的に使用、もしくは開示しない義務を履行させるべく対応します。

情報発信の停止とお客様情報の削除について

弊社では、製品をご愛用いただいておりますお客様に、新製品やイベントの情報等を郵便や電子メールにより発信させていただくことがありますが、ご不要の場合にはお客様からのお申し出により差し止めさせていただきます。

お客様よりお客様情報の削除の申し出があった場合には速やかにこれを削除いたします。

5. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じることが予想される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

濡らさない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源ケーブルは大切に

電源ケーブルを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。電源ケーブルが傷んだら、直ちに販売店にご依頼ください。

ご使用は正しい電源電圧で

設定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれた場合、火災・感電の原因となります。

注意

電源ケーブルを熱器具に近づけない

ケーブル被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源ケーブルを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

接続をする場合は、電源を切り、各々の機器の取り扱い説明書に従って接続してください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、怪我の原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所

重いものを載せない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きいものをおかないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

6. 同梱物の確認

Calypsoのパッケージには、以下の物が同梱されています。最初にご確認下さい。

1. Calypso本体…………… 1
2. オーナーズマニュアル（本書）…… 1
3. 電源ケーブル…………… 1
4. リモコン…………… 1
5. 保証登録カード…………… 1

ご注意！

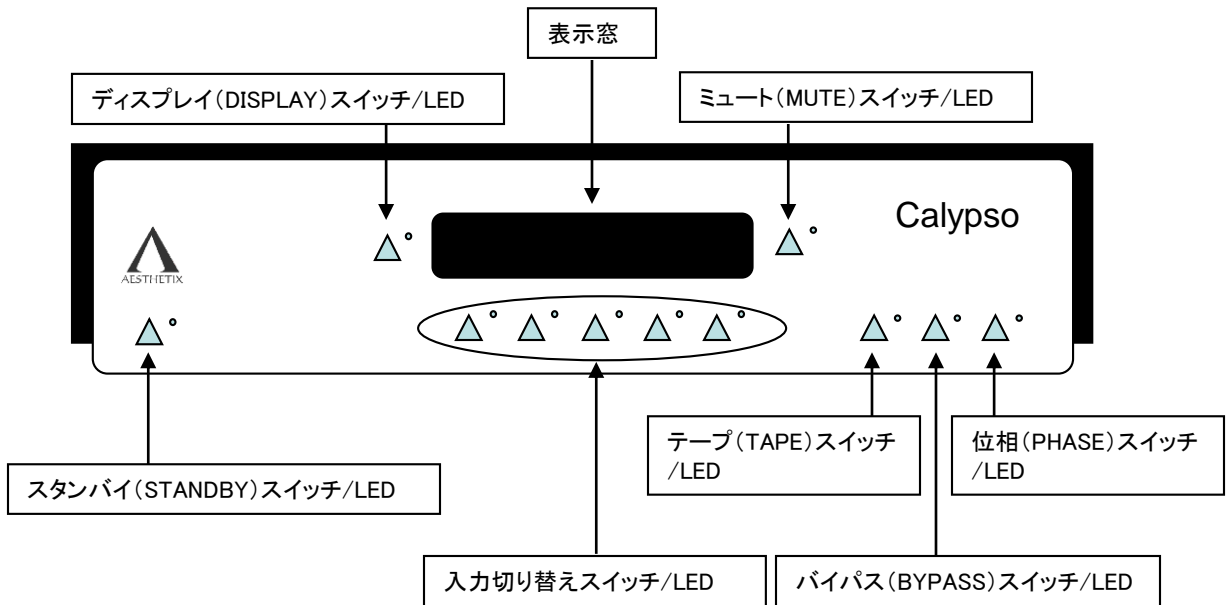
付属の電源ケーブルは、他の機器に使用しないで下さい。

梱包箱および梱包材は、修理、引越し等でCalypsoを輸送する際に必要です。大切に保管されておかれることをお勧めします。

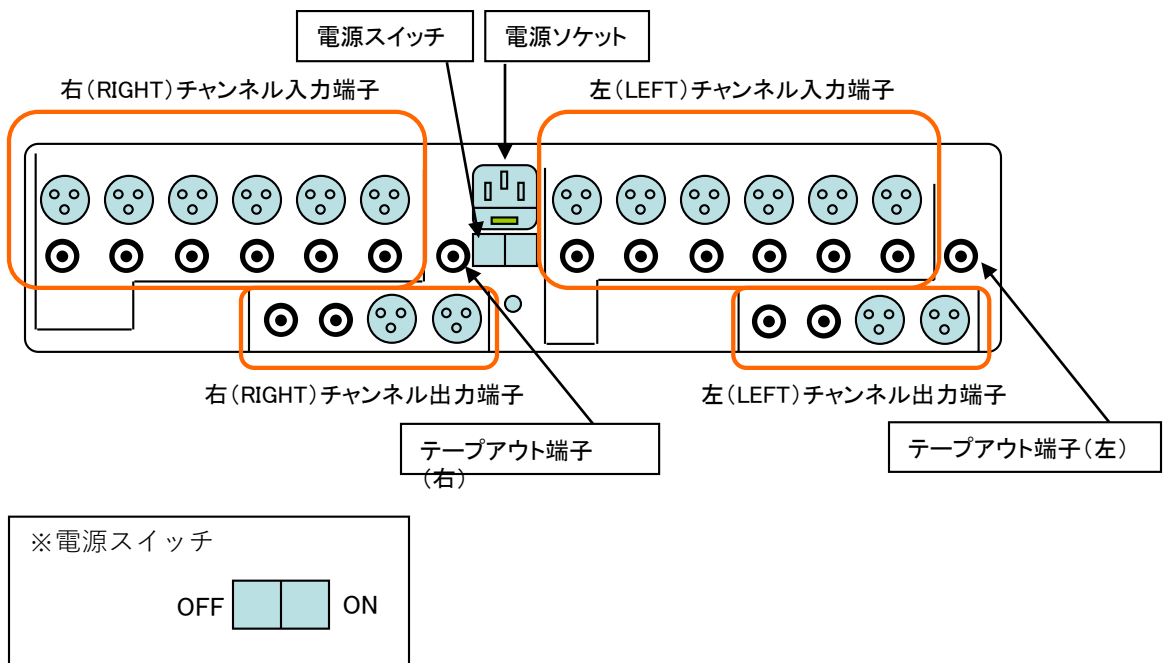
7. 設置場所について

通気は機器にとって非常に重要です。パワーアンプのような発熱の多い機器の上には絶対に設置しないで下さい。故障の原因になります。Calypsoの上部には最低10センチ以上スペースをとって下さい。

8. Calypsoフロントパネル



9. Calypsoリアパネル



10. 接続について

ご注意！

接続をする際は必ずCalypsoリアパネルの電源スイッチと、接続するパワーアンプの電源がオフであることを確認してください。

1) Calypsoの入力端子にソース機器を接続します。バランス (XLR) とシングルエンド (RCA) のどちらかのケーブルで接続してください。テープデッキはテープ入力 (TAPE) /テープ出力 (TAPE OUTPUT) に接続します。端子の配置については「9. Calypsoリアパネル」を参照してください。テープ出力はフルボリューム (0dB) で出力されます。

2) シングルエンド (RCA)、又はバランス (XLR) ケーブルでCalypsoの出力端子とパワーアンプを接続します。パワーアンプがバランス接続に対応している場合は、バランス接続をご使用になることをお奨めします。この場合、ゲインが6dB上昇します。

3) 電源ケーブルをCalypsoリアパネルの電源ソケットと、コンセントに接続します。

※ Calypsoの内部回路は、シングルエンドで3.5Vrms、バランスで7.0Vrmsの信号を受け入れることができますが、まれにこれを越える出力電圧の機器が存在します。機器にボリュームやゲインコントロールが装備されている場合は出力レベルを調整する必要がありますが、装備されていない場合は業界標準に適合させる必要があります。入力可能レベルを超えると、ガリガリという歪みや信号のピークがつぶれてしまったりする場合があります。

11. 操作方法

11.1 電源オン=スタンバイ

リアパネル中央にある電源スイッチ（「9. Calypsoリアパネル」参照）をオンにすると電源が入ります。はじめに約2秒間Calypsoのソフトウェアバージョンがディスプレイに表示され、その後自動的にスタンバイモードとなります。

スタンバイ状態では真空管以外の全ての回路に電源が供給されます。高電圧供給は真空管に害を与えないレベルに保たれます。ソリッドステートの回路は全て通電されています。スタンバイ状態では常時、スタンバイLEDが点灯します。

フロントパネル左のスタンバイ（STANDBY）スイッチを押すと、スタンバイが解除され、操作状態に入ります。このとき、熱と高電圧供給が安定し、操作レベルに達するまでの約30秒間スタンバイLEDが点滅します。

ウォームアップが完了するとスタンバイLEDが消灯し、選択されている入力の番号が表示されます。このときはミュート状態になっており、ミュートLEDが点灯します。

ご使用時以外はCalypsoをスタンバイにしておくことをお勧めします。

11.2 入力選択

入力切替スイッチ（1・2・3・4・5）の、お聴きになる入力のスイッチを押します。

※ テープ（TAPE）ボタンはカセットデッキからの出力をモニターする際に使用します。

11.3 ボリューム

ボリュームは、表示窓の左側を押すと下がり、右側を押すと上がります。1dBステップです。

11.4 バランス

バランスは、リモコンの左ボタンと右ボタンを押して調整します。本体のフロントパネルからは操作できません。バランス調整をすると、表示窓の左側に左チャンネルのボリューム、右側には右チャンネルのボリュームが表示されます。両チャンネルが同じボリュームの時に、ボリュームの数字は一つになります。

11.5 ミュート

ミュート（MUTE）ボタンを押すと交互にミュートのオン・オフが切り替わります。

11.6 バイパス

バイパスモードにすると、出力は固定出力となります。サラウンドプロセッサをCalypsoに接続する時に使用する機能です。システムコントロールは完全にプロセッサ側で行うことになります。**通常のソース機器を再生中にバイパスモードにしないでください。瞬時にスピーカーから大音量が出て、スピーカーを破損する恐れがあります。**

複数の入力をバイパス入力に選択することができます。一度バイパスモードに設定すると、選択したときに自動的に入力がバイパスされます。バイパスモードにすると、表示窓にはボリュームが表示されず、ミュートが無効になります。

入力をバイパスモードに設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1) バイパスモードに設定する入力を入力切り替えスイッチで選択します。
- 2) フロントパネルのバイパス (BYPASS) ボタンを押し、押した状態のままにします。バイパスLEDが点灯します。
- 3) バイパス (BYPASS) ボタンを押している間に、入力切り替えスイッチを押します。バイパスLEDと選択した入力LEDが点滅します。

バイパスモードに入ると、バイパスLEDが点灯し、ボリューム表示が消灯します。バイパスモードに設定されていない入力切り替えスイッチを押すと、バイパスモードから抜け出すことができます。

バイパスモードに設定した入力を入力切り替えスイッチで選択したとき、バイパスモードに入る前にバイパスLEDが点灯し、これからバイパスモードに入ることを示します。バイパスLEDが点滅しているときにほかの入力切り替えスイッチを押すと、選択した入力チャンネルに移行し、バイパスモードに入ることをキャンセルします。

選択した入力チャンネルでバイパスモードを解除する際は、上の1)～3)の手順をもう一度行ってください。

テープインも同様にバイパスモードに設定することができます。手順は上と同じです。テープインが事前に選択されていることが必要です。この場合、Calypsoのテープアウトはサラウンドプロセッサの入力に接続します。

バイパス設定はCalypso本体のメモリーに記録され、電源をオフにしても保持されます。

11.7 位相切替

位相 (PHASE) スイッチを押すと位相LEDが点灯し、出力の位相が180° 切り替わります。もう一度位相スイッチを押すと位相LEDが消え、出力の位相が元に戻ります。フォーカスイメージの改善や低域をタイトにしたい時等にご使用下さい。レコーディングを重ねると、位相はレコーディングプロセスやマスタリングプロセスを経て少しずつ変化してしまいます。

11.8 ディスプレイ

通常の操作時、表示窓にはボリュームレベルが表示され、使用している入力のLEDが点灯しています。ディスプレイ (DISPLAY) スイッチを押すことにより全てのLEDを消灯することができます。LEDが消灯しているときに何かボタンを押すと、表示窓の表示とLEDが5秒間だけ再点灯し、その後消灯します。ディスプレイ (DISPLAY) スイッチを再度押すと解除され、通常モードに戻ります。ただし、スタンバイのときは常にスタンバイLEDが点灯します。

11.9 リモートコントロール

Calypsoにはリモコンが付属しています。RheaやJanusと共通の機能を持っており、このリモコン一つで3機種を操作することができます。Calypsoを操作する時は、最初にCalypsoのボタンを押してから操作して下さい。使い方は本体操作と全く同じです。

12. ディスプレイ機能

Calypsoには、室内の明るさに反応して輝度を調節する機能を持っています。工場出荷の状態ではほとんどの状況において機能しますが、手動調節することも可能です。

ディスプレイ機能には、3つの機能があります。

- ・ディスプレイの輝度調節
- ・LEDの輝度調節
- ・工場出荷の状態に戻す

12.1 ディスプレイの輝度調節

ディスプレイ (DISPLAY) ボタンを押したままにし、同時に入力切り替えスイッチの「1」を押します。いったんディスプレイ輝度調節モードに入ったら、調節はリモコンで行うようにし、Calypso本体のセンサーを覆い隠さないようにしてください。

入力LED「2」が点灯し、表示窓にふたつの数字が表示されます。左側の数字はセンサーにより測定された値で、0が最も暗く、15が最も明るい値を示しています。右側の数字は、手動によるディスプレイの輝度調節の値を示します。0が最も暗く、15が最も明るい値を示しています。LED「2」が点灯しているときは、表示窓の右 (アップ)、左 (ダウン) を押すことでディスプレイの輝度レベルを手動で調節することができます。

ディスプレイ (DISPLAY) スイッチを押すとノーマルモードに戻ります。

12.2 LED輝度調節

このモードはディスプレイの輝度調節とは独立して変更できます。

LED輝度調節モードに移行するには、まずディスプレイボタンを押したままにし、同時に入力切り替えスイッチの「2」を押します。このモードに入ったら、Calypso本体のセンサーを覆わないようにリモコンで操作するようにしてください。入力LED「2」が点灯し、0-15の2つの数字が表示窓に表示されます。左側の数字はセンサーにより測定された値で、0が最も暗く、15が最も明るい値を示しています。右側の数字は現在の輝度レベルを表しています。0が最も暗く、15が最も明るい値となります。入力LED「2」が点灯している間に表示窓の右 (アップ) と左 (ダウン) を押して現在のLED輝度レベルを調節します。

ディスプレイ (DISPLAY) スイッチを押すとノーマルモードに戻ります。

※ ディスプレイの輝度とLEDの輝度を同じレベルに設定すると、室内の光量の変化による輝度変化がなくなります。

12.3 工場出荷の状態に戻す

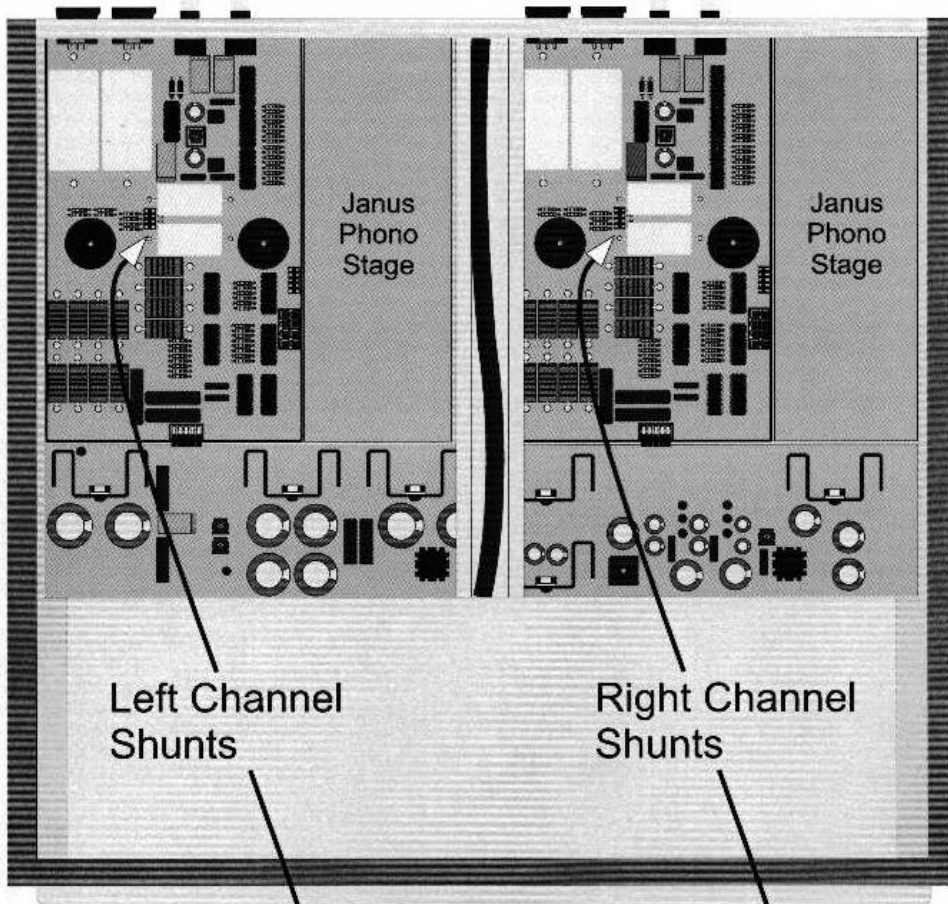
ディスプレイとLEDの輝度の設定を工場出荷時の状態に戻すには、ディスプレイ (DISPLAY) スイッチを押しながら入力切り替えスイッチの「3」を押します。入力LED「1」から「5」まで全てが点灯し、工場出荷時の設定に戻ります。

13. ゲインコントロール

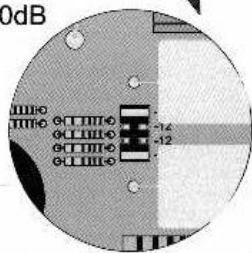
Calypsoはハイゲインのプリアンプです。能率の高いスピーカーや敏感なパワーアンプをお使いの場合は、ゲインを低く設定してください。通常お聴きになるボリュームレベルが0-40の場合、またCalypsoからチューブヒスノイズが発生している場合は、-12dBゲインを下げます。12dBゲインを下げると、チューブヒスノイズも12dB下がります。

ゲインコントロールの手順

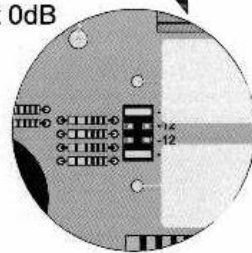
- 1) Calypsoの電源スイッチを切り、電源ケーブルを抜きます。
- 2) 安全のために20分ほど待ちます。
- 3) 天板を外します。
- 4) 次ページの図に従ってジャンパーを切り替えます。
- 5) ゲインは0dBと-12dBのセッティングがあります。ジャンパーを右 (RIGHT) チャンネル、左 (LEFT) チャンネル両方とも外側にすると0dBに、内側にすると-12dBになります。各々のチャンネルについて同じセッティングにしてください。
- 6) 天板を元通りに付けます。



Left at 0dB

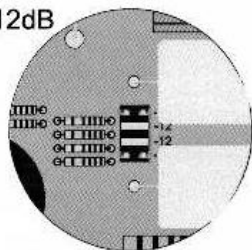


Right at 0dB

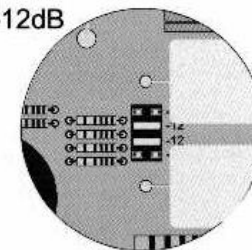


----- or -----

Left at -12dB



Right at -12dB



14. メンテナンス

電源ケーブルがつながった状態では、絶対に天板をはずさないで下さい。電源ケーブルを外しても、パワーサプライはチャージされた状態を保ちますので、メンテナンスは、電源ケーブルを外してから最低20分経ってから行ってください。

通常内部のメンテナンスの必要はありません。真空管から異音が出てきたり、何かメンテナンスの必要が出てきた際以外は天板を外さないで下さい。

天板はネジ止めではなく、強固なマジックテープで固定されています。天板を外すには、リアパネル側の左端を持ち、ゆっくりと持ち上げます。徐々にマジックテープがはがれて、天板が外れます。

天板を付け直す時は、フロントパネルと沿うようにゆっくりと前側から後ろ側へと貼り付けてください。

Specifications

Gain	23dB single ended in/out and 29dB balanced/out
Input impedance	40k Ω (SE) 80k Ω (balanced)
Maximum input	3.5V (SE) 7.0Vrms (balanced)
Frequency response	+/- .25dB, 20Hz~20kHz
Tubes	V1 (12AX7LP), V2 (6922/6DJ8)
Power Consumption	20watts (standby), 100watts (active)
Dimensions	455 (W) 466 (D) 108 (H) mm
Weight	17.5kg